

議案審査の中から

常任委員会での議案審査の中から、主なものをお知らせします。

産業建設

除雪機械の更新は

質疑 市直営の除雪機械の更新状況は。

答弁 建設機械は購入後11年を経過すると3分の2の国庫補助で更新できる。

今年度の横手市の対象機械は、2・2メートルロータリが3台、3・7メートル級のグレーダが1台、13トン級ドーザが1台、1・3メートルの小型ロータリ1台の計6台である。

また、平成19年度の計画は4台となっていて、順次交換していきたい。

大森町健康温泉の利 用料の改定について

質疑 「健康温泉」は、これまで70歳以上が無料であったものが、有料となると当然利用率が下がると思われるが、その対策は。

答弁 経過措置があり、高齢者無料券も6枚支給される。また、保健師に来ていただき健康相談を実施するなどし、集客を図りたい。

山内地区の「木の香」 の利用時間は5時まで

質疑 横手市国産材需要開発センター「木の香」の使用時間を5時までとする理由は。

答弁 過去5年間は、夜間の利用実績が無かった。

また、従業員が5時までの勤務時間となっており、夜間は時間外勤務となるため、利用者と働く人の勤務時間に合わせて改正したい。

文教

学校統合をにらみ視察

文教常任委員会では、学校統合を視野に、協議が進められている大森地区の保

呂羽小学校、白山小学校の視察を行った。(旧大森町議会では、大森地区内の小学校4校での統合が審議されてきた。)

保呂羽小学校は児童数35名で複式学級となっており、その解消のために市の教育委員会では、2名の講師を派遣している。

児童の安全対策は

質疑 児童の登校下校時の安全対策に、みまわり隊や安全グッズなどの整備はな

されているが、今後もボランティアで継続されていくのか、また、公共的に安全を守る方策などは検討されているのか。

答弁 緊急を要する対応を迫られているというのが正直なところである。学校見守りデー、地域見守りデーやボランティア活動をドッキングさせて、毎日だれかが

見守っているという状況を確立し、継続を図っていきたいと考えている。

防犯活動の組織化が日常的に行われていく手段としては、県の指導でスクールガードリーダーを設定し、東成瀬村と共同で3人のリーダーをお願いしている。今後、40の学校を定期的に指導しながら、防犯教室の開催や防犯意識を高める活動をしていく予定である。



▲保呂羽小学校を視察する文教常任委員